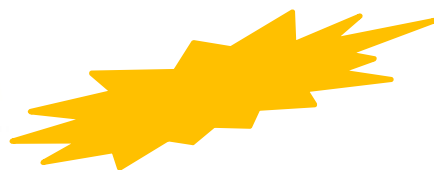


みんなにシリーズ第2弾!!



みんなに
学び知らせよう!

STOP



改悪



「介護保険制度」

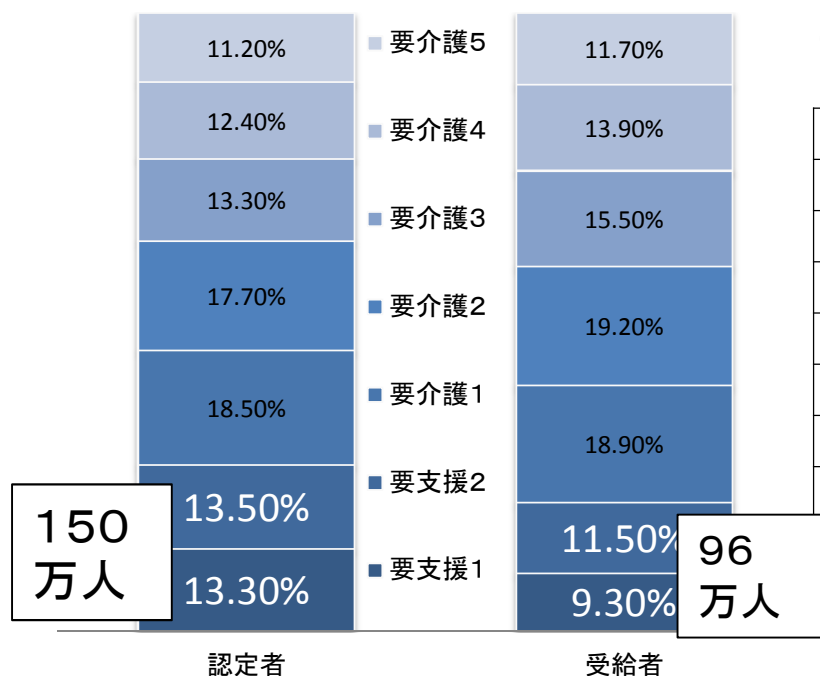
つるが在宅総合センター和
坂口 みゆき



要支援者への支援の見直し

要支援1、2の認定・サービス利用の現状2013.1月現在 **9割が生活援助**

★サービス種別・要支援者構成比
(全利用者に対する要支援者の割合)



訪問介護	30.50%
通所介護	24.50%
通所リハビリ	23.10%
訪問看護	10.00%
訪問リハビリ	12.50%
福祉用具貸与	16.30%
短期入所（計）	2.60%
特定施設	13.60%
小規模多機能居宅介護	9.60%
認知症対応型共同生活介護	1.80%

**2015年から3年かけて新たな地域支援事業(仮称)
に段階的に移行させていく**





次の狙いは要介護1、2

受け皿のモデルは 「介護予防・日常生活支援事業」

要支援者

市町村に丸投げ

二次予防事業対象者

サービスの質に関する基準はなし

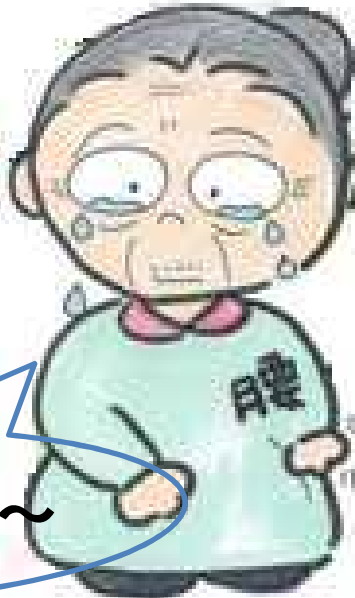


利用者の状態像や意向に応じて、
市町村(地域包括支援センター)がサービスの内容を判断



わたしたち
ボランティアや
近所の助け合
いサービス

どうなるのお～

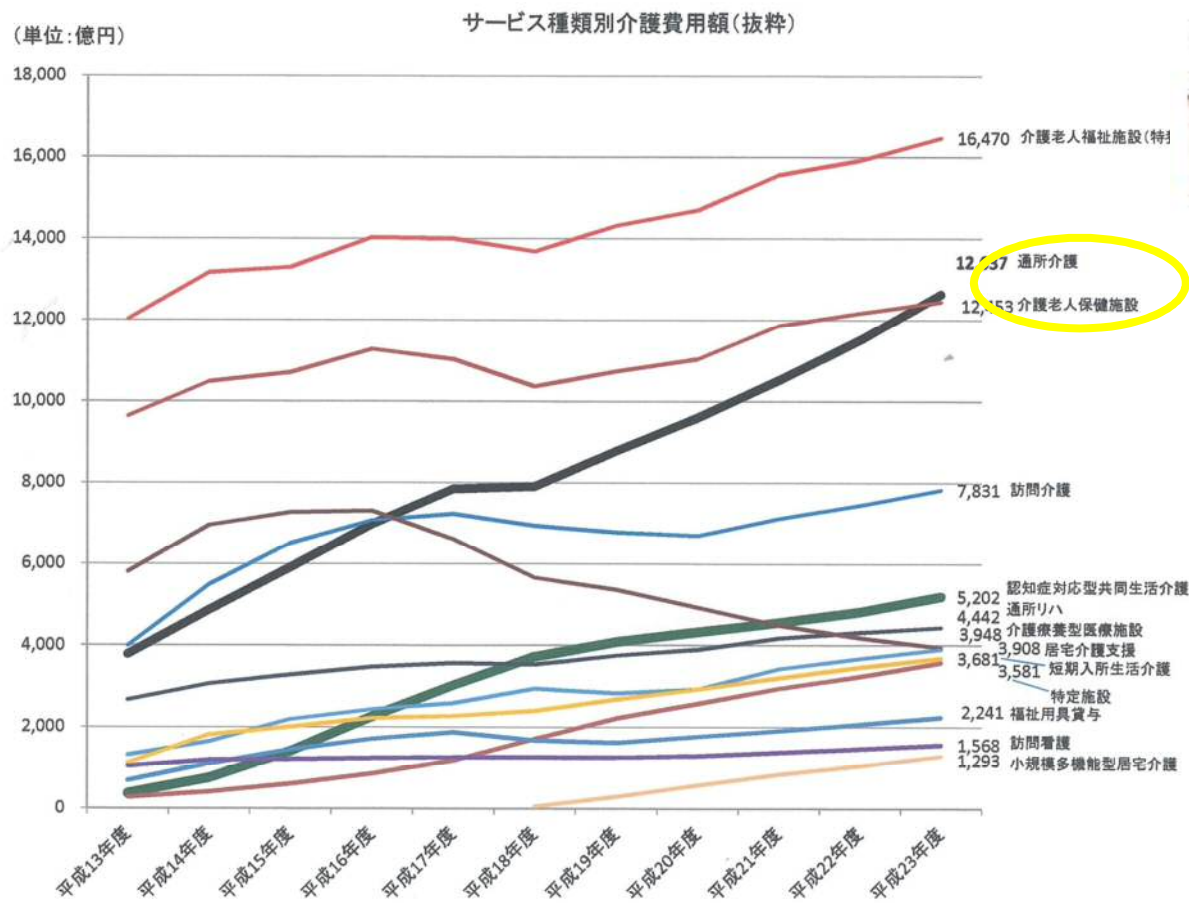




**専門職でなくとも可
＝専門性の否定**

デイサービスの見直し

通所介護の費用は急増している。



デイサービス！！



漫然たる
お預かり
サービス！！



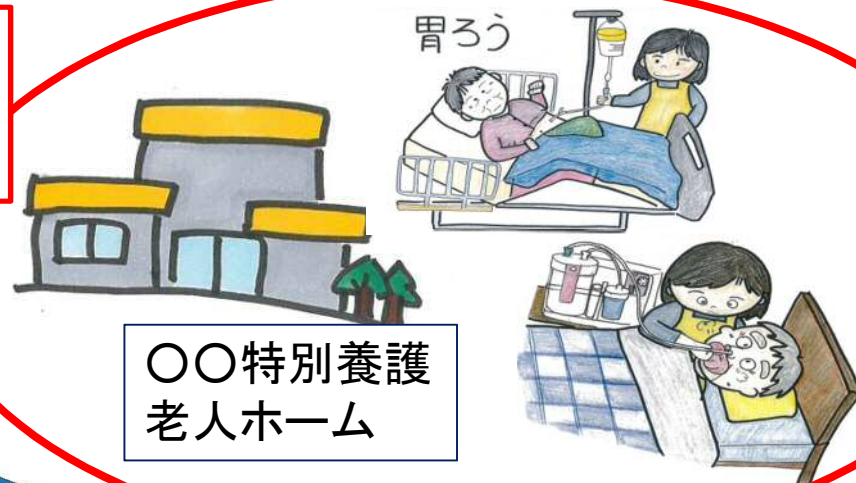
重度化予防のない
デイサービスは
給付削減が対象外



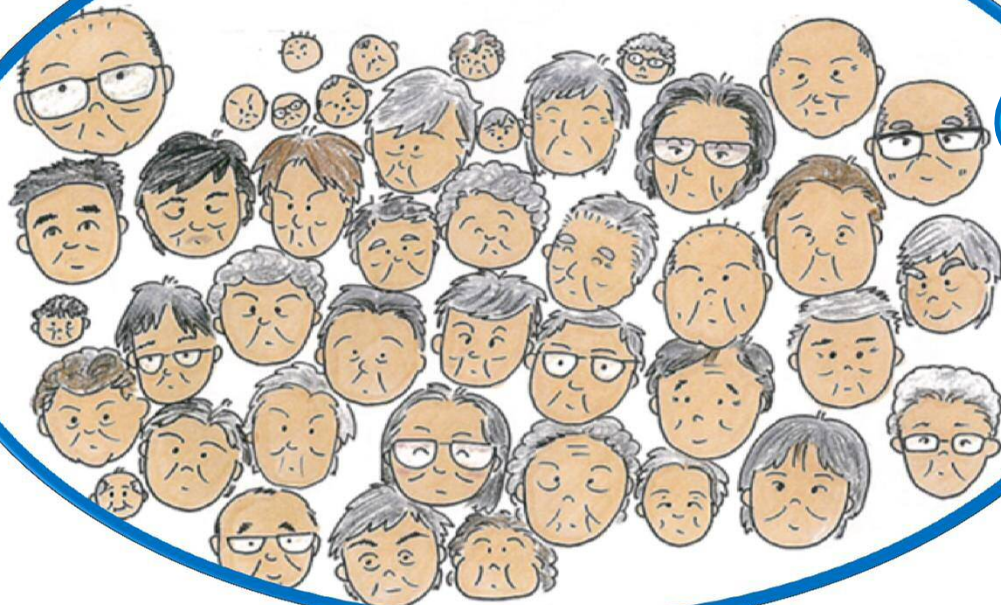
特養の入所対象者の見直し

要介護3以上

要介護1、2

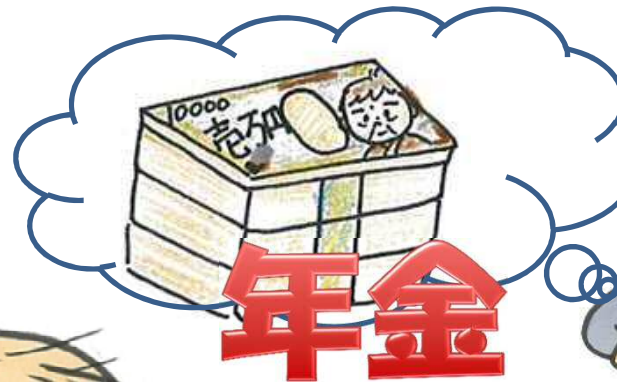


どうなるの～

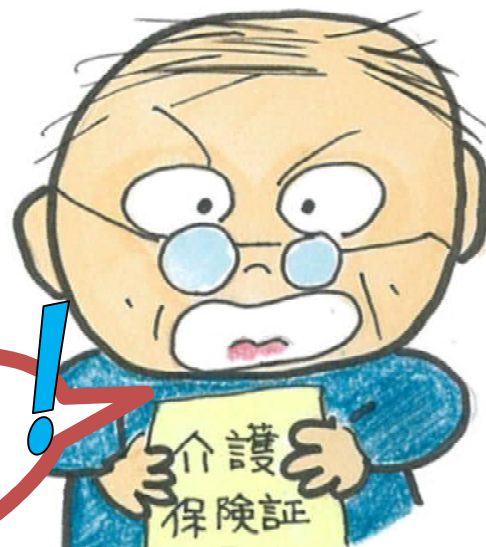


一定の所得を有する利用者の負担 を引き上げ

若いころから
まじめに働いた



夫婦年収360万円以上



利用料負担 2割化!





**将来 すべての
利用者の利用料2割に
引き上げる一歩！**

補足給付の見直し

施設入所されている方の約6割、
特養の場合 約8割が該当

補足給付とは？
施設の居住費・食費について低所得者の負担を軽減する制度です。

	基準費用額 (日額(月額))	負担限度額 日額(月額)		
		第1段階	第2段階	第3段階
食費	1,380円(4.2万円)	300円(0.9万円)	390円(1.2万円)	650円(2.0万円)



例えば 食費

基準費用額1,380円に対して、第1段階の負担限度額が300円。
差額の、1,080円を介護保険から特定入所者介護サービス費(補足給付)として施設に支払われます。

この制度が！！

<p>預貯金</p> 	<p>▶ 単身で 1000万円以上</p> <p>▶ 夫婦で 2000万円以上</p>
<p>不動産</p> 	<p>▶ 一定の評価額以上を所有</p>
<p>配偶者の所得</p> 	<p>▶ 施設入所を機に夫婦が住民票の上で世帯を分離しても、いずれかが課税対象</p>



なんてことだあ～

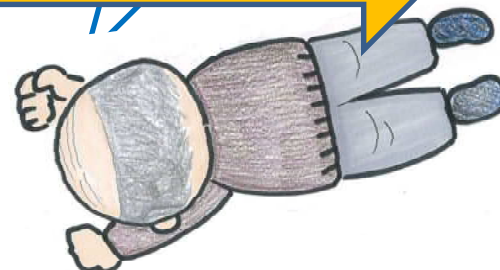
一定以上の預貯金あり

不正者には 3倍返し

一定以上の不動産あり

死んでもかあ～

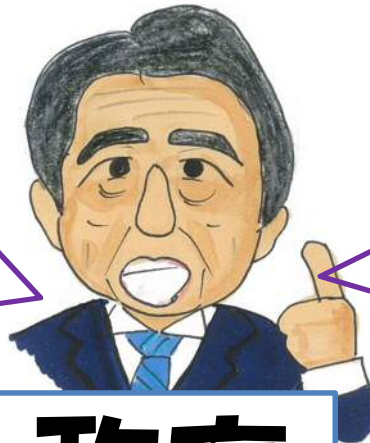
住民税課税



厚労省は、遺産を担保に借金を負わせる
リバースモゲージ、
軽減分の費用を死後に遺産から徴収する
死後生産制度なども
提案！

低所得者高齢者の保険料負担軽減

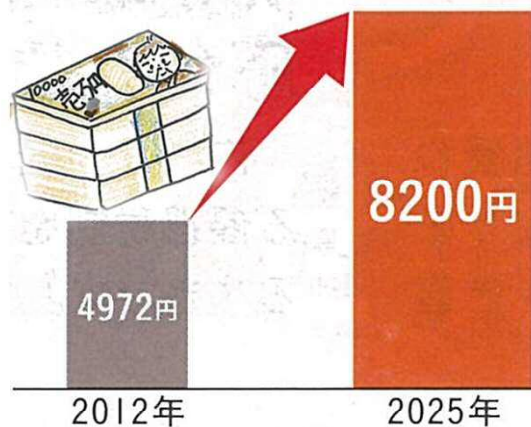
「低所得者対策」
として保険料を軽
減すべき！



財源は、
消費税増税・給
付を削って確保
します！

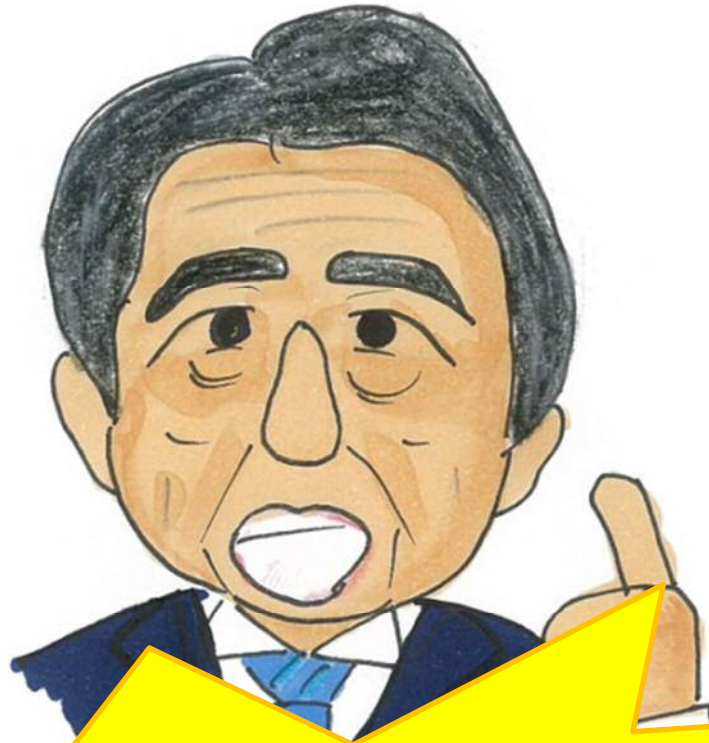
政府

低所得者だけの問題ではない！
～65歳以上の介護保険料～



保険料の支払いが困難
になり、制度そのもの
が破綻することは明ら
かです！！





**政府は国の負担は
増やしません！**

福井民医連介護部 がんばろう！！



さかC

